

令和5年度 事業報告

公益財団法人前橋観光コンベンション協会

概要

令和5年度の観光需要は、新型コロナウイルスが、いわゆる「2類相当」から「5類感染症」になったことにより、回復傾向にある。また、円安を追い風としたインバウンド需要が高まっており、日本を訪れた外国人はコロナ前の同じ月を超えている。このような状況の中、観光庁はデータによる見える化とともに、世代を超えた住民とさまざまな異業種が参画し、地域のストーリーを磨き上げ、付加価値の高い体験型観光商品の提供などを通じて、稼ぐ力の好循環による持続可能な観光地域づくりを推進している。

当協会は、道の駅観光案内所の安定運営とともに、観光庁補助事業に採択された3件の事業を実施することでインバウンドの地方誘客、観光産業の再生・高付加価値化、観光産業のDX化に努めている。

I コンベンション事業

前橋市への経済効果を目的にコンベンション・スポーツ大会等の主催者となる大学や企業、コンベンション・スポーツ大会等関係団体等から収集した情報を活用して商談会や説明会、トレードショー等における誘致活動と共に財政的援助等の支援を行うことでコンベンション・スポーツ大会等誘致の推進を図った。

(※令和5年度よりスポーツ大会等の誘致事業が前橋市より移管)

(1) 誘致支援事業

大規模コンベンションのみならず中小規模のコンベンション、サテライト会議やスポーツ大会などを誘致するため、下記事業を実施した。

① 「トレードショー（商談会）等出展」事業

- ・第33回国際MICEエキスポ（IME2024）へ、群馬県コンベンションビューローと共同出展した。（2月15日）

セラー：105団体 82ブース

バイヤー：商談会参加者：260名（国内237名・海外23名）

- ・7都市コンベンション推進団体情報交換会

全国7ブロックの同規模都市、前橋・旭川・秋田・岐阜・姫路・松山・鹿児島で協議会を組織し、各都市で開催したコンベンションの誘致情報交換や主催者招待会（懇談会）を共同開催した。

7都市情報交換会 年6回開催（内2回はZoomによるオンライン開催）

7都市情報懇談会（1月16日 会場 東京會館）

招待者：22団体33名

② 「キーパーソン（開催地決定権者）視察受入」事業

- ・各種学会等のキーパーソンを下見等で市内のコンベンション会場や観光施設等の視察受入れを実施

③ 「誘致訪問」事業

- ・県内の大学関係者に対するアンケート調査（年2回）による大学個別訪問や様々な情報収集により入手した開催予定主催団体への個別訪問を実施
- ・首都圏誘致活動として主催団体・学会等の事務局、本部への営業については、直接訪問と併せて電話、電子メールでの誘致活動を実施

④ 「コンベンション誘致促進及びスポーツ大会等開催助成」事業

令和5年度誘致促進助成金制度として31件(交付額6,158千円)の助成を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対象コンベンションが中止、延期又はWeb（ハイブリッド含む）開催に変更されたことにより計26件(交付額5,488千円)になった。

- ・コンベンション誘致促進助成金 5件 交付額 686千円
- ・スポーツ大会等開催助成金（共催負担金含む） 21件 交付額4,802千円

⑤ 「開催サポート」事業及び「歓迎」事業

コンベンション開催期間中に県外から来訪されるお客様を歓迎するため、JR前橋駅を中心に歓迎フラッグを設置するとともに、前橋の観光パンフレットやコングレスバッグ、オリジナルクリアファイル、「前橋の天然水アカギノメグミ」を主催者へ提供し前橋をPRした。

- ・コンベンション 10件／5,332名
- ・スポーツ大会等 22件／13,332名(下記ニューイヤー駅伝支援分含む)

開催サポート事業の利用件数合計 32件／18,664名

(前年度 20件／5,579名)

【経済波及効果】

540,265千円（54件・助成金利用以外22件分含む）

*MICE開催による地域経済波及効果測定モデル参考資料により算出

※ニューイヤー駅伝支援

群馬県庁前へ「歓迎看板」の掲示、郷土芸能（八木節、華龍太鼓）の披露、参加チーム・役員へ「前橋の天然水アカギノメグミ」の贈呈、宿泊施設や

JR前橋駅構内などへ歓迎横断幕及びフラッグを設置する等の支援を行った。

⑥ ユニークベニユーを活用した事業

国指定重要文化財「臨江閣」をユニークベニユー会場とした誘致・開催
国際ロータリー第2840地区ローターアクト第21回地区年次大会や日本コカ・コーラ役員合宿等で実施

(2) 広報宣伝事業

コンベンション・スポーツ大会等の啓発

地元主催者、市民及び賛助会員に対し、コンベンション活動を理解していただくため、当協会の協会報や前橋市スポーツカレンダーの作成、ホームページの活用により、各種事業を紹介しPR活動を行った。

(3) 企画調査事業

① コンベンション開催スケジュールの調査

コンベンション情報を収集提供するため、市内のコンベンション施設に開催予定を調査し、協会が把握しきれていない情報を含めスケジュール表にしてまとめた。

② JCCB総会、部会等やJSTAセミナー等への参加

日本コンgresコンベンションビューロー（JCCB）総会及びビューロー部会に参加し、コンベンションに関する情報収集及び意見交換を行った。

- ・ JCCBコンベンション・ビューロー総会（6月26日 品川区）
- ・ JCCBコンベンション・ビューロー部会（7月20日・21日 大津市）
- ・ JCCBコンベンション・ビューロー部会（2月16日 新宿区）
- ・ JSTA事務局・意見交換（6月26日 千代田区）

(4) 人材育成啓発事業

① 受入業界情報交換

来橋者に直接的に接遇する施設関係者との意見交換会の実施

② コンベンション受け入れ関連業界との事業共催の実施

- ・ 前橋旅館ホテル協同組合研修会として下記事業を共催
全旅連青年部主催「旅フェス2024」に群馬県旅館ホテル生活衛生協同組合の下部組織として参加（2月14日・15日 東京ビックサイト）

II 広報宣伝事業

前橋市及びその周辺地域の観光資源の宣伝と観光客誘客促進のために観光PR活動やフィルムコミッション事業を下記のとおり実施した。

1 観光資源の造成

(1) フィルム・コミッション事業

映像文化の振興を始め、観光振興、撮影現場となった地域の新たな価値の発見、撮影隊が現地に留まることに伴う経済効果など、多方面で地域の活性に寄与した。

- #### ① 映画、テレビ番組、コマーシャルフィルム等の撮影支援及び撮影の誘致制作者からの依頼により、撮影候補地紹介、エキストラ等出演依頼の対応、撮影立見、撮影立会い、許可申請調整等を行った。

- ・ 受付件数 40件（前年度75件）
- ・ 撮影実績 23件（前年度17件）
- ・ 経済効果 14,611,750円（前年度2,355,025円）（直接消費分）

ジャンル	市内撮影件数
映画	4件
連続テレビドラマ等	7件
コマーシャル	2件
その他	10件
合計	23件

- ・市民サポーター（撮影ボランティア）
エキストラ登録者数：1,179名（前年度より40名増）

② 映像文化啓発、情報発信事業

- ・ホームページ、SNS、各種雑誌、ラジオ、ポスターなどでフィルムコミッション事業について周知を図った。
- ・ロケ地マップ「THE MAP～撮影地をめぐり、前橋を食す～」改訂増刷8,000部
- ・前橋工科大学の「建築史特論（大学院開講科目）」授業に「前橋フィルムコミッション」及びロケーションハンティングの観点、映像製作支援の観点から、前橋の建築や都市の特質について講演した。（1月9日）

（2）新たな観光資源開発のための旅行事業

① 体験観光商品づくりの支援等

- ・地域OTAサイト（オンライン体験予約サイト）の立ち上げと併せ、体験観光商品づくりのサポートとして、ページ掲載用の写真撮影やgoogle登録のサポートなどを行った。
- ・食やそれにまつわる文化をテーマにした体験観光の実証事業
観光庁「地域一体となったガストロノミー事業」の採択により、インバウンドを視野に入れた酒造り体験メニュー等のモニターツアーや、「食の交流会」として市内飲食店を対象としたセミナー並びに商談会を実施した。
- ・通常は入れない、レンゲツツジの名所である白樺牧場内を散策する特別ツアーを赤城山頂の事業者と共同実施することで、誘客を図るとともに牧場内のレンゲツツジ保護を啓発した。
参加者 初夏（ツツジ） 198名 直接経済効果 799,600円
秋（紅葉） 74名 直接経済効果 296,000円
- ・自然保護団体が実施する赤城山エコツアーの広報協力を行った。

② ガイド人材の育成

- ・インバウンド向けサイクリングツアーガイドのOJT研修
実際のツアーでのガイド実施による研修（3月22日 東京グレートサイクリングツアー）
ツアー実施OJT（4月25日、5月1日、3月25日）

実施エリアは、いずれも前橋市～桐生市～みどり市の広域コース

- ・日本人向けサイクリングツアー

赤城山山頂エリア(8月22日 市立前橋高等学校フィールドワーク)

道の駅まえばし赤城発着モニターツアー2グループ (12月22日)

道の駅まえばし赤城～渋川/ツアー(3月2日)

みどり市～桐生市 /モニターツアー(3月15日)

- ・2023年度 JNTO 認定外国人観光案内所全国研修会プログラムへ2名参加
(2月21日・22日)

(3) サイクルプロジェクトの推進

① 赤城山周辺エリア連携の推進

行政区をまたいだサイクリングイベント「赤城山一周ライド」や、サイクリストを対象としたスタンプラリーなどを実施し、赤城山を中心とした広域エリアの連携を深め、一体的な魅力向上を図った。

- ・赤城山1周ライド(10月14日)

1周コース 申込数：101名 ハーフコース 申込数：10名

- ・AKAGI サイクルスタンプラリー

スタンプラリーに使用するスマートフォンアプリを新規開発し、従来のQRコードでのスタンプ取得からGPS位置情報を活用したスタンプ取得に切り替え、地区を分けて2回実施した。

第1弾 実施期間：8月31日～11月15日

スタンプスポット：21か所(赤城山山頂エリア)

アプリダウンロード数：225名(参考昨年度247名)

40～50代が多く参加、地域は群馬県内や隣県からの参加が多かった。

第2弾 実施期間：10月26日～2月4日

スタンプスポット：86か所

アプリダウンロード数：151名

② サイクリストを面的に受け入れるための環境整備の推進

サイクリング中の休息や簡易な自転車修理ができる拠点(サイクルオアシス)を12か所(前橋市3か所、桐生市3か所、渋川市4か所、みどり市2か所)新設し、サイクリスト受入の面的整備を進めた。

(3月末現在101か所)

③ 新たな観光価値の創造とプロモーション

道の駅に新設したサイクルステーションにおける情報発信や、地域の魅力を伝えるe-Bikeサイクリングツアー等を企画・実施した。

- ・e-Bikeサイクリングツアー

赤城山らんたん祭りセルフミニサイクリングツアー(8月6日 18名)

春の訪れを発見!地域グルメツアー2024(2月23日)降雪予報のため中止

- 河津桜と古民家カフェのリトリートサイクリング 2024(3月2日 6名)
- ・インバウンドツアー受入
 - AKAGI Great Countryside Tour(前橋市・桐生市・みどり市広域)
(ベトナム 各1名×2回 計2名、フィリピン 3名×1回)
 - ・その他対応(モニターツアー・視察受け入れ等含む) 34件
 - ・探究プログラム赤城大沼 市立前橋高等学校 (8月22日39名)
別途 南スーダン選手2名含む外国人4名、教員3名

2 観光PR事業

(1) 観光展・キャンペーンの実施・参加

- ① 観光キャンペーン、前橋市及び赤城山周辺エリアのプロモーション事業
 - ・ホームページ等のインターネット媒体やオンラインを活用したプロモーションの実施
 - ・県内の各種イベントへのブースの出展
 - UPDATE EARTH 2024 に観光ブースを出展(3月2日)
 - ・東日本旅客鉄道株式会社特別列車と連携したプロモーション
 - 両毛線 EL 特別運行 (2月23日)
出迎えアトラクション(厩橋 CHINDON 競演会)の実施とノベルティの配布
 - 両毛線 SL 特別運行(3月24日)
ローズクイーンによるお出迎えとノベルティ配布
- ② 宣伝用ノベルティの作成・配布
 - ・前橋市及び赤城山周辺エリアの魅力発信のための、特に前橋市の公式観光 WEB サイトである「前橋まるごとガイド」の二次元コードを掲出したノベルティを中心に各種イベントで配布を行った。

(2) マスコミ説明会・観光キャラバンの実施

- 首都圏等のマスコミ・旅行会社等への情報発信及び取材受入等
- ・各種マスコミからの取材対応
 - 地球の歩き方、昭文社マップル、JTB パブリッシング等

(3) 観光資源の広報宣伝

前橋市及び赤城山周辺エリアの宣伝・イメージアップや魅力発信のために各種媒体を通して積極的な宣伝活動・情報発信を行った。

① 着地型観光パンフレット等の作成・設置

観光案内所(前橋駅・道の駅)や前橋市内のホテル・旅館などで観光案内に活用する着地型観光パンフレット等の作成及び設置。観光客の増加に対応するため作成部数を増やした。

・前橋観光情報誌（まちたびまえばし）	45,000部
・赤城山観光情報誌（AKAGIFT）秋冬号・春夏号 各 15,000部	計 30,000部
・前橋全域マップ（まえばし観光マップ）	30,000部
・まちなか案内マップ（前橋まちなか&新前橋駅周辺マップ）	12,000部
・赤城山登山ルート案内マップ（百名山赤城山マップ）	30,000部
・道の駅周辺マップ	20,000部
・赤城南麓周辺 GUIDE MAP2024	10,000部
・赤城山サイクリングマップ(英語版)	2,000部

② テレビ、新聞、雑誌、ラジオ等への情報提供、タイアップ及び広告の掲出

- ・赤城山を舞台にしたアニメのキャラの等身大パネル掲出（ロイヤリティ広告）
- ・県民会館で行われるゲーム・アニメコンテンツのキャラライブに関連した同コンテンツキャラを活用したプロモーション
- ・まえばしCITYエフエムによる観光情報発信（毎月第四木曜日に出演）
- ・毎日新聞「第68回全日本実業団駅伝（ニューイヤー駅伝）」特集（約22万部）
- ・毎日新聞「日本展望2023」特集企画～東日本の観光物産特集～（約22万部）
- ・旬刊旅行新聞 北関東特集（群馬・栃木・茨城）（約3万2千部）
- ・読売新聞（別刷）群馬県民の日特集（群馬県版 約183千部）
- ・新潟日報「夏の群馬県観光特集」（40万部）
- ・リビング埼玉「赤城南面千本桜まつり」（埼玉サンケイリビング新聞/15万9千部）

③ WEBを活用した広報宣伝及びプロモーション事業

- ・観光公式ページ「前橋まるごとガイド」を活用し、前橋市の観光情報や魅力の発信を行い、交流人口と消費額の増加を推進（年間ページビュー数 3,311,979件 前年比 100.3%）
- ・赤城山ポータルサイト「AkagiTrip」を活用し、赤城山周辺エリアの魅力発信を行い、交流人口と消費額の増加を推進（年間ページビュー数 706,317件 前年比 138%）
- ・SNS（Facebook、X、Instagram）による情報発信及びプロモーション
- ・検索サイト用及びSNS用に誘客促進のための広告を掲出
- ・観光、コンベンション振興を目的とした広報活動用の写真貸出サイト（フォトライブラリー）の充実
- ・ホームページアクセスデータによる観光需要者の傾向分析
- ・自転車旅サイト掲載の赤城山サイクリングマップ(日本語版)情報追加・更新

④ 前橋駅イーサイト内デジタルサイネージ、前橋駅電光掲示板、ライブカメラを活用した観光情報発信

⑤ プロモーション用の写真や動画の撮影

(4) 旅行業者等への情報提供、問い合わせや商談会への参加

- ① 花火大会バスツアーの誘致活動(3月15日 2社)
- ② 雑誌社や旅行エージェントへの観光情報や写真素材の提供(随時)

3 観光団体・施設等との連携推進

(1) 他団体と連携した広域観光の推進

① 両毛線沿線のほほん連絡協議会事業

- ・両毛線沿線6市、JR東日本高崎支社、群馬県と連携し、両毛線沿線地域のプロモーションとしてWEB上に特設サイト開設、スタンプラリー等の実施
- ・本事業にかかる連携イベント「和のコトAsobi」の実施
(臨江閣11月4日・5日)
- ・両毛線沿線のほほん連絡協議会 (JR大宮駅キャラバン 9月26日)

② ググっとぐんま観光宣伝推進協議会事業

- ・同協議会と連携し、継続的に素材の磨き上げや観光宣伝、プロモーション実施

③ 前橋市内宿泊施設と連携したPR事業

- ・前橋に泊まって当てようキャンペーン(年間2回実施)
6月15日～8月31日 応募件数943件(県外86%)
12月15日～2月29日 応募件数689件(県外85%)
計1,632件(県外86%) 前年 1,497件(前年比109%)

④ インバウンド啓発事業

観光庁事業が採択

「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」

- ・インバウンドの地方誘客や観光消費の拡大を促進するため、前橋市と連携し、前年の継続事業としてブラッシュアップ。「臨江閣」の庭園に多言語案内板や案内ルートを整備した。また、ユニークベニューとしてのレセプション利用促進のため、レセプションプランの整備を行った。

「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」

- ・インバウンド受入を視野に、旅館ホテル、観光施設、物販店などの各団体と連携し、ワーケーションの検討や観光客受け入れの高付加価値化等、新たな受入体制の構築
- ・多言語ユニバーサル情報発信ツールの活用(パンフレットのデータ化)
- ・窓口での外国語対話アプリの活用
- ・ホームページの多言語化

4 観光案内所等の運営

(1) 観光案内所の運営

周辺の観光ゲートウェイとして、タイムリーな観光情報を提供することにより、観光客の利便性を向上させた。また、JNTO 認定観光案内所として資質を維持するとともに、来訪客の問合せ数やその内容についてデータ収集を行った。

- ① 「前橋駅観光案内所（前橋駅構内）」の運営 JNTO カテゴリー1
来所人数 4, 695名（前年度4, 249名）
- ② 道の駅まえばし赤城観光案内所の運営（受託事業） JNTO カテゴリー2
前橋市を中心とした広域観光情報を提供。
来所人数 200, 065名（4月1日～3月31日/初年度）

(2) 県立赤城公園ビジターセンターの管理、運営（受託事業）

県立赤城公園ビジターセンターでの案内や現地でしかわからないリアルタイムな情報の発信

来所人数 63, 484名（前年度57, 264名）

III 観光振興事業

観光客誘致を目的としたイベント等の主催団体に対する財政的支援や、観光振興のための支援、環境整備等の事業を下記のとおり実施した。

1 イベントの開催

(1) まつり行事、イベント等の実施及び助成

集客力が高く、観光客の誘致や都市イメージアップ等に貢献できるイベント等の運営、開催経費の一部負担などを行った。

- ① 主催事業（2件）
 - ・前橋観光百景写真コンテスト 応募 103名 出品点数 407点
(前年度 応募126名 489点)
 - ・赤城神社参道松並木とつつじの道ウォーキング 5月3日 参加者93名

※令和6年度から NPO 法人宮城スポーツクラブに移管

② 共催及び後援行事

赤城南面千本桜まつり（4月1日～4月16日）
赤城山新緑&つつじウィーク（5月27日～6月25日）
ローズクィーンコンテスト（最終審査6月3日）
七夕まつり（7月7日～9日）
前橋花火大会（8月12日）

前橋まつり（10月7日・8日）

初市まつり（1月9日）

上州空っ風凧揚げ大会 in 前橋（2月10日） ほか 計 62事業

2 イベントへの支援等

（1）補助金等の交付

市内で開催される各種まつり・イベント等、前橋の観光振興に寄与する事業へ補助金等の交付を行った。

① 補助金

前橋八木節協会

前橋華龍太鼓振興会

酉の市まつり

ばら園まつり

大胡祇園まつり

② 協賛金

朔太郎音楽祭 2023

前橋ふびす講

（2）観光振興のための二次交通支援、環境整備

まつり・イベント等の来訪者や観光客の利便性を高めるため、二次交通支援としてバスの運行補助や観光資源の環境整備を行った。

① 二次交通支援

会場までのバスを安価で臨時運行するなど、来訪客の利便性を高めることで集客を図ることを目的として、赤城南面千本桜の開花時期にあわせて、バスを運行した。

・JR 前橋駅発

4月1、2、8、9、15、16日（6日間） 乗車人数：318名

3月23、24、30、31日（4日間） 乗車人数：2名

・上毛電気鉄道あかぎ駅発

3月23、24、30、31日（4日間） 乗車人数：2名

② 環境整備

遊歩道等の安全管理のため下草刈り等を実施

・白樺牧場レンゲツツジ保護ボランティア支援業務

（3）イベントプロデュースおよび人的支援

民間事業者が行う観光誘客に寄与するイベント等に対し、各種アドバイスや運営協力等の人員支援を行った。

- ・ AKAGI PIG-OUT CAMP
- ・ 赤城山らんたん祭り
- ・ AKAGI WHITE WEEK など

IV 法人の管理運営

(1) 会議の開催

定款に基づき、理事会、評議員会等を次のとおり開催し、重要事項を審議・決定した。

① 理事会

- | | | |
|-------|-----|--|
| ・ 第1回 | 期 日 | 4月12日 |
| | 場 所 | 書面による表決 |
| | 議 題 | (1) 顧問の委嘱について
(2) 書面決議による臨時評議員会の開催について |
| ・ 第2回 | 期 日 | 5月24日 |
| | 場 所 | 前橋市中央公民館 505 学習室 |
| | 議 題 | (1) 理事長及び専務理事の職務執行状況の報告
(2) 令和4年度事業報告について
(3) 令和4年度決算報告書(案)について
(4) 令和5年度定時評議員会の開催について
(5) 観光専門委員の委嘱について
(6) 理事の利益相反取引の報告について |
| ・ 第3回 | 期 日 | 7月20日 |
| | 場 所 | 書面による表決 |
| | 議 題 | (1) 顧問の委嘱について
(2) 観光専門委員の委嘱について
(3) 書面決議による臨時評議員会の開催について |
| ・ 第4回 | 期 日 | 10月10日 |
| | 場 所 | 書面による表決 |
| | 議 題 | (1) 書面決議による臨時評議員会の開催について |
| ・ 第5回 | 期 日 | 1月10日 |
| | 場 所 | 書面による表決 |
| | 議 題 | (1) 書面決議による臨時評議員会の開催について |
| ・ 第6回 | 期 日 | 2月26日 |
| | 場 所 | 前橋市中央公民館 501 学習室 |
| | 議 題 | (1) 理事長及び専務理事の職務執行状況の報告
(2) ようこそまえばしを進める会事業の継承について
(3) 令和5年度収支予算の補正(案)について |

- (4) 令和6年度事業計画(案)について
- (5) 令和6年度収支予算書(案)について
- (6) 令和5年度臨時評議員会の開催について
- (7) 理事の利益相反取引の承認について
- (8) 理事の利益相反取引の承認について
- (9) 理事の利益相反取引の承認について
- (10) 理事の利益相反取引の承認について

② 評議員会

- ・臨時 期 日 4月25日
場 所 書面による表決
議 題 (1) 評議員の辞任に伴う補欠選任について
(2) 理事の辞任に伴う補欠選任について
- ・定 時 期 日 6月19日
場 所 前橋市中央公民館 507 学習室
議 題 (1) 令和4年度事業報告について
(2) 令和4年度決算報告書について
- ・臨時 期 日 8月7日
場 所 書面による表決
議 題 (1) 評議員の辞任に伴う補欠選任について
(2) 理事の辞任に伴う補欠選任について
- ・臨時 期 日 10月20日
場 所 書面による表決
議 題 (1) 評議員の辞任に伴う補欠選任について
- ・臨時 期 日 1月22日
場 所 書面による表決
議 題 (1) 評議員の辞任に伴う補欠選任について
- ・臨時 期 日 3月13日
場 所 前橋市中央公民館 501・502 学習室
議 題 (1) 令和5年度収支予算の補正について
(2) 令和6年度事業計画について
(3) 令和6年度収支予算書について
(4) 理事の辞任に伴う補欠選任について

③ 観光専門委員会

- 期 日 2月13日
- 場 所 前橋商工会議所会館 3階 アネモネ
- 議 題 (1) 観光OTAについて
(2) 観光庁補助事業について
(3) 令和6年度事業計画について

(2) 賛助会員加入促進

本協会の事業に賛同し、運営に必要な経費に充てる賛助会費（寄付）を支援していただける会員の募集に務めた。

（令和5年度会員数323会員、賛助会費額6,975千円）

(3) その他財団運営に必要なこと

- ① 経理業務
- ② 庶務業務
- ③ 事務所維持管理
- ④ インターネットを活用した広報及び情報提供
- ⑤ 職員研修の実施
- ⑥ その他